

(資料①)

令和5年度（第35期） 事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



令和5年度（第35期）事業報告の概要

コロナウイルス感染症は本年度5月に5類へ移行、観光支援も手伝い観光客が増加、売り上げがコロナ禍前を凌ぐ月もあり賑わいが戻り始めた事が実感できた年度となった。花街道では冬季に入り集客数が激減したものの、売り上げは全体で約5%増収となった。温泉においては、集客は約9%増え、令和5年5月より入浴料金を一部改訂し大人700円が800円となったこともあり売上は約22%の増収となった。一方令和5年10月より始まったインボイス制度により値段改定など対応に迫られた。一部取引をやめられた業者もあった。

地域事業としては、地元のイベント（昭和モーターショー、森林の市、夢まつり、レディスクラフトフェア等）が例年通り開催された他、ミニカーのイベント、音楽フェスティバルなどが新たに開催された。また8月からは付知川河川敷の専用利用が認められミズベリング事業が始まり、8月、9月、11月に河川敷にてイベントを行った。

また花街道において、「多目的ホール」（旧木工研究室）が岐阜県及び中津川市林業振興課により「木遊館サテライト施設」として改修されることとなり、令和6年2月中旬より工事が始まり令和6年6月中旬に完成する見込みとなった。改修に伴い「多目的ホール」裏にあった休憩室、書庫、商品及び備品倉庫を、売店内奥をパーテーションで仕切り移転することとなった。また、ソフトクリーム売り場も売店前の回廊に移転することとなった。（売店は3月中旬に完成、ソフトクリーム売り場は4月上旬に完成した。）移転費用は、林業振興課と観光課にて賄われたが、移転に際して、移転作業のため臨時休業の他、照明具、コンセント等、備品、設備費用が掛かることとなった。（一部は市に負担を要請している。）